



七沢森林公園 森のアトリエ

(撮影 阿部会員)

令和4年7月号 Vol. 219

(2022年)

発行：令和4年7月9日

あつぎ観光ボランティアガイド協会

ホームページ <http://atugikanvola.sakura.ne.jp>

メールアドレス atugikanvola@yahoo.co.jp

発行責任者 会長 森島 誠 編集担当者 澤田 正弘

《訪問ガイド研修に参加して：開創1300年の日向薬師宝城坊》

行事区分：訪問ガイド研修（かながわガイド協議会）

日 時：5月28日（土）9：30～12：00

場 所：伊勢原市

参加者：会員5名

いせはら観光ボランティアガイド&ウォーク協会担当の訪問ガイド研修に参加してきました。前日の大雨がうその様で、伊勢原駅はもう夏です。大山行きバスの長蛇の列を横目に当観ボラの五人衆は日向薬師行きに乗り込みました。まずは、表参道入口横、日向神社（白髯神社）に参拝。668年高句麗から大磯を経て来た白く長い髯の王族若光（じゃっこう）が祀られています。

さて、頼朝が白装束に着替えた「衣裳場（いしば）」を経て上がっていく参道は覆われた樹林から木漏れ日、石段は苔むし、静寂です。石段を上がると仁王門。金剛力士2体（鎌倉仏師 後藤真慶作）がにらみをきかせています。山門は再建ですが、前は楼門であったそうで、さぞ立派だったでしょう。



H28年、270年ぶりの大改修を終えた本堂（薬師堂）の茅葺屋根の重さはなんと50t超で圧倒されます。本堂の内陣は頼朝奉納の大太鼓、釈迦如来、千手観音、中央は薬師如来と守護の十二神将、弘法大師、行基、役行者（えんのぎょうじゃ）像まで並んでいます。十二神将の一人は右腕の肘あたりまで魚にくわえられており説明は面白かったです。本堂を辞し、境内に戻ります。足利尊氏の四男基氏が五穀豊穡祈願の幡かけ杉は樹齢800年ともいわれ、太さ7m、高さは34mあり、見上げてしまいます。横には暦応3年（1340年）銘の銅鐘があり、珍しいのは鐘堂です。3本の柱が四隅にあり計12本、

薬師如来と十二の刻を守る十二神将を表わしています。相模守大江公資の妻相模参詣の和歌などの歌碑、虚空蔵菩薩もあります。

最後は宝物殿。県下最古の厨子に薬師三尊像（薬師如来、日光、月光菩薩）が納められて開扉は正月の三が日、8日、大法会のみです。10～11世紀初頭作の如来様は意図的にノミの痕を残す鉦彫りを用いて一木造りで制作されています。厨子の周りは東西南北を守護する四天王、等身大の十二神将が凛々しく立っています。宝殿の管理の方のお話が面白く、立像の後ろから照らす4色のライトアップが設置され、実際に点灯していただきました。赤色が一番外国の方にうけ「ワオー」と喜ぶそうです！翻訳タッチパネルまであります。今日は特別に太田道灌が使用した、漆塗り鹿皮の頬当を持ってきて頂き、大サービスのひとときでした。

今「鎌倉殿」のゆかりが各地紹介されていますが、頼朝が政子の安産、娘大姫の平癒祈願、政子の参詣とこれほどまで深く信仰した716年行基開創の日向薬師。眼病治癒の御利益も！皆様も是非、日陰道を通して「いざ、薬師じゃ！」（石川記）

《温水から恩曾川源流探検》

行事区分：会員研修（ハイキング）

日時：6月4日（土）10：00～12：30

場所：スポーツセンター入口バス停～恩曾川～森の里

参加者：会員4名

スポーツセンター入口バス停で集合し恩曾川へ、つつじの丘公園までの遡上コースです。田植えの為に川のゴム堰はふくらみ、水が張られた田植え前の田んぼには大山が映っていました。ハツ橋を過ぎると、真っ直ぐだった川は暗渠になったり、畑の真ん中を蛇行したり、わたし達も畑の中の道を小さな鉄板の橋を渡って進むと「毛利氏発祥の地」の碑のある三島神社です。さらに本禅寺、後ろの河岸段丘が良くわかります。鶴舞橋を渡って行く



上古沢橋

と正面に物寄峠（ものよせとうげ）の塔がまるで戦国時代の物見櫓の様に見えます。対岸は厚木の産業、養豚牧場です。親水広場に到着。この辺から川はコの字に曲がり支流が合流しています。むじな坂方面からの支流、厚木霊園方面からの野竹沢川支流、つつじの丘公園東側方面からの支流です。つつじの丘公園方面の源流池を探しに行きましたが伏流水となり池は消えていました。水は急に綺麗になり、クレソンの花が咲き続く、野竹沢川沿いを歩いてつつじの丘公園北口へ。今日はここまでです。

ハイキングのコースとしては少し物足りない感じがあり、当初計画の森のアトリエまでも検討してはと感じました。恩曾川は下流で玉川と合流し相模川となる身近な川です。その上流域ハイキングコースで、新しい発見もあり、もっと上流域への興味がわいた楽しい下見でした。上流、又は下流方面へともう少しのばして新しいコースが出来ればと思います。（菅谷記）

《かながわガイド協議会 2022 年総会》

行事区分：かながわガイド協議会総会

日 時：6月3日（金）10：00～11：30

場 所：小田原市 市民センター会議室

参加者：会員1名

かながわガイド協議会総会が、二年ぶりに会員団体代表が参加して開催されました。昨年は、訪問ガイド研修6件計画の内2件がコロナの影響で実施できずに今年度に延期されました。昨年、各団体取り組んだ大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に関するコラムは、観光かながわNOWに掲載され好評なので、本年はそのコラムに掲載した内容をガイドするイベントを計画しています。

本年度の活動で承認された主な内容は、訪問ガイド研修は前年延期2件を含めて8件を計画しています。合同研修会は、「横濱金澤シティガイド協会」担当で12月8日（予定）、幹部研修会は「大磯ガイド協会」担当で2023年2月16日実施（予定）です。今年度も協議会の活動に参加して、当会の活動向上のため有効に活用することを願います。

（森島誠 記）

《下見会：中依知の日蓮上人の旧跡を巡る》

行事区分：企画ガイドの下見会

日 時：6月25日（土）9：30～12：45

場 所：山際～関口～中依知

参加者：会員8名

日蓮上人の「星下りの奇瑞」。この逸話の伝わる依知は寺社・史跡が多く、また道々に心と姿を見せる庚申塔や道標、小さなお社には説明書きがあり、地域の方に大切にされていることが伝わってきます。

梅雨明け前の照りつける太陽と強い南風が吹いた6月25日、7月の企画ガイド『中依知の日蓮上人の旧跡を巡る』の下見会が行われました。

スタートは明治期、地域の人々によって創られた学びの場、山際漢学研究所跡。歩を進めれば長福寺と境内に建つ多くの石碑、その先には、大山寺の不動明王を模して造られたといわれる大山道の道標、そして山際神社の社殿の彫刻の見事さになど、どれも目を奪われます。また高台に建つ日枝神社や大信寺、色とりどりの紫陽花に励まされながら向かった「星下り」の逸話を残す蓮生寺では、先輩方の内容豊かな説明を伺いながら眺めの見事さに目を見張ると共に、相模川の氾濫によって流失したという歴史を感じる事が出来ました。



前夜に「明日、新人さんもガイドの練習をしましょう」とお話があり、必死に資料確認等をして迎えた下見会でしたが、先輩方からの多くのお話や実際に足を運ぶことから多くの学びを得ることが出来、とても充実した時間となりました。

（毛利 記）

《玉川ジグザグ散歩》

行事区分：会員研修（ハイキング）

日 時：6月29日（水）9：30～12：45

場 所：玉川沿い

参加者：会員7名

今日で5日目の猛暑です。各地で40℃前後の気温が記録されました。

全員がリーダーから貰った保冷剤を首に巻いて元気に歩き出すと、陶芸教室を開いているお屋敷の塀の中から大ダヌキが私達を見下ろしていました。今日は船子から小野にかけての玉川沿いを歩く新ルート of 調査です。歴史探訪でもハイキングでもない気楽な散歩を目論んだ新ルートが、この暑さでぐにゃぐにゃになりそうです。



見学ポイントには、今までのガイド対象であった寺社や道標に加えて、信楽焼きの大ダヌキやアヒルの横断歩道の標識などがありました。現在、この横断歩道は既に消え、2羽のアヒルだけが小屋の中で座り込んでいました。

玉川沿いの田んぼには華奢な稲が風にそよいで美しく見えました。長谷の衣塚（ころもづか）が田んぼの中でポツンと立っています。リーダーから日照りで玉川に堰を造る為に自ら人柱となった山伏の物語を聴きました。



宝積寺と縁切り橋道標は共に弓の名手愛甲三郎季隆で繋がりを、旧玉川の道標では新玉川建設の経緯が話され、式内社の小野神社ではヤマトタケルとオトタチバナヒメの事など、話題の尽きないコースだと思いました。

最後に、153段の階段を登って龍鳳寺に着きました。若いご住職が親しく様々なお話をされ、その上、私達の集合写真を丈六の釈迦大仏像が上手く収まるように撮ってくれました。丘陵の上にある龍鳳寺は木々に囲まれ、暑さの中でも涼しげで引き締まった感じのする場所でした。

今回の調査を終えて、私が散歩コースとして適当と考えたのは次の2点でした。

1. 基本的に2時間以内に収めること
2. 基本的に説明は面白い部分だけを1、2分で話すこと （前澤 記）



ホタルブクロ

《訪問ガイド研修に参加して：鎌倉幕府執権・北条義時の史跡を巡る》

行事区分：訪問ガイド研修（かながわガイド協議会）

日 時：6月30日（木）9：30～12：30

場 所：鎌倉市

参加者：会員4名

記録的に早い梅雨明けで少々暑さにうんざりしていた6月30日、鎌倉ガイド協会担当の「訪問ガイド研修」に参加しました。

今年は大河ドラマの影響で鎌倉幕府の話題が多く、すっかり忘れていた武家政権について色々知りたいと思っていたところで興味を持っての参加でした。



厚木に住みながら鎌倉を訪ねることが有りませんでした。数年前から坂東三十三観音巡り等で何度か訪ねるようになりました。しかし、今回は鶴岡八幡宮、宝戒寺等ガイドブ

ックにあるコースに加え大蔵（大倉）幕府旧跡、北条義時法華堂跡、大倉亭推定地（北条義時邸跡）を回りました。要所ごとに「北条執権邸跡」「畠山重忠邸跡」「西御門跡」「源頼朝法華堂跡」等の立派な石碑が有り、それには大正時代の鎌倉町青年団銘が刻まれてました。これらは今は市役所の管理では無く、ガイドさんたちのボランティアにより清掃、白文字の手入れがされているとのことでした。歴史のある街の底深さを感じました。



最後の覚園寺では木造の本尊薬師如来他、鎌倉に多いやぐら（横穴墳墓）を見ました。本当に暑い中の見学でしたが境内の木々の中の最高の涼しさに感謝して終わりました。

今回は全体で約80名、5班に分かれて厚木の4名は2班17名のグループに入りガイドングレシーバーを使って案内をしてもらい良かったです。コロナのためストラップ、イヤホンは各自200円の買取方法をとっていました。（小林 記）



夕化粧（ユウゲシヨウ）

最近の活動

日付	場所	内容	参加者
6月4日	恩曾川沿い	会員研修 「温水から恩曾川の源流探検」	会員 4名
6月11日	アミューあつぎ	定例会	会員 20名
6月25日	中依知	企画ガイド下見会 「中依知の日蓮上人の旧跡を巡る」	会員 8名
6月29日	玉川沿い	会員研修 「玉川ジグザグ散歩」	会員 7名
6月30日	鎌倉市	訪問ガイド 「鎌倉幕府北条義時の史跡を巡る」	会員 4名
7月4日	相川公民館	編集会議	会員 4名

編集後記

関東地方は6月27日に梅雨明けとなりました。平年と比べると22日も早いそうです。毎日暑い日が続くなか、29日に実施した「玉川ジグザグ散歩」は保冷剤をタオルで首に巻き、塩飴をなめ、頻繁に水分を摂るなど気を付けて歩きましたが、最後の訪問先「小野・聞修寺」は諦めて近くのレストランで昼食という事になりました。熱中症で緊急搬送される方も多いようです。暑さとの戦いはこれから8月末頃までの長期戦になります。お互いに無理しないで過ごしましょう。

編集委員 阿部 啓冊 小林 直樹 澤田 正弘 前澤 宣子